

アクセス方法
 <サロベツ原野への行き方>
 羽田空港→稚内空港（1時間50分）
 中部国際空港→稚内空港（2時間）
 関西国際空港→稚内空港（2時間10分）
 上記の空港からは、直行便が運行しています。
 JR宗谷本線「稚内駅」→「豊富駅」下車（45分）
 →沿岸バス「稚内行き」→「サロベツ温泉センター前」下車（12分）

memo



小さな旅 ホームページ
<http://nhk.jp/kotabi>

memo

小さな旅

～30年 こころのふるさとをみつめて～

コブック vol. 62

風をきり 北へ
 ～北海道 サロベツから宗谷岬～

2012年8月26日（日）放送



夏、北海道の北・サロベツ原野から宗谷岬にかけては、バイクに乗って旅をする人々が全国から集まります。空と大地が溶け合うような一本道には、珍しい高山植物が咲き誇り、雄大な自然が待ち受けます。さまざまな思いを胸に北へ向かうライダーと、彼らを支える地元の人たちとの触れあいに出会う旅です。

漁師とライダーのふれあい

旅の見どころ 3



106号線を抜けて稚内市に入ると道りをかわいらしいカエルのおアジエが彩ります。交通安全を呼びかけるカエルを地元の人々は「無事カエル」と呼んでいます。郵便局だった木村功さんが10年前から廃材になった漁具の浮き玉を削って作り始めました。木村さんに質問して、地元の人たちもたくさんカエルを通りに飾るようになっていきます。町の人の思いが込められた「無事カエル」が北へ向かうライダーを見守ります。

カエルロード

旅の見どころ 2

旅の見どころ 1

ライダーたちのあこがれ「道道106号線」

北へ向かうライダーたちが走るのは、道道106号線。信号もガードレールもほとんどない一直線の道が続きます。広さ23000ヘクタールを誇る日本最大級の湿原サロベツ原野、日本海に浮かぶ雄大な利尻山をのぞむ絶景ロードです。バイクのツーリング雑誌で全国一の道とも称えられる106号線を北へ北へ、バイクは風を切ってひた走ります。

